

【意見集約】魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けたご意見を聴く会 < 甲賀 >

日 時 平成 22 年(2010 年)11 月 27 日(土) 10:00 ~ 11:30

場 所 サントピア水口 (参加者 39 名 : 発言 10 名)

(魅力と活力ある学校づくり関連)

魅力と活力ある学校づくりは、延々ずっと取り組んでいかねばならない問題である。

「魅力と活力ある県立高等学校づくり」との標題からは、統廃合が含まれていることが分かりづらい。小学生を持つ保護者にとって、統廃合は子どもが進学するときに関わってくる切実な問題である。

魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けてとあるが、統廃合が中心の話になっている。

大学等への進学率については、普通科・職業学科ともに右肩上がりだが、職業学科においては 20%程度であり、普通科との間には開きがある。高等学校で平均的な人間をつくるのではなく、これは負けない! という人づくりも大切。こうしたことから、例えば大学の工学部に進学するには、普通科より工業学科に進学する方が有利になるという考え方も必要ではないか。大学進学に対し、これは負けないという部分を生かす方策は講じられているのか。

(学校規模、学級規模関連)

説明資料に定時制課程の見直しとあるが、様々な学習動機・学習歴を持つ生徒こそ、少人数で関わっていくことが重要であると考えます。

30 人・35 人学級にすれば学級数は増える。学校の活気を考えたらある程度の人数が必要だが、少人数で教えてもらった学力が向上するのではないか。魅力と活力ある学校づくりのため学力向上を実現するためには、まず定員について検討すれば良いのではないか。

小規模があり大規模もあるのが特色である。部活動については、同じ地域の同じレベルの学校で設置を割り振れば、生徒が選択できるのではないか。

資料 p12 に大きな規模の学校における弊害も述べられているが、そうした大きな規模の学校の再編についても視野に入っているのか。

(計画の周知と意見反映関連)

今回の意見聴取会をもって広く県民が再編の考えを理解したと考えているのか、あるいは、まだ理解されていないと考えているのか。

再編計画(原案)を公表された後、このような意見を述べる機会は設けられるのか。

旧町単位で説明会を実施してほしい。

直接生徒を指導している現場の教員の声を聴く機会をもってほしい。

再編の反対意見を取り入れ、統廃合以外の方法で魅力と活力ある学校づくりに取り組むことについて考えていくのか。

(財政難と教育費関連)

説明資料を見る限り、財政難だから統廃合してハード面にかかるお金を減らしていくものと捉えたが、魅力と活力ある県立高等学校づくりに向けた取組は、根本的に何から始まったのか。

(スケジュール関連)

今後のスケジュールを教えてください、年度内に策定するのか。今年度末に計画が策定されるとして、いつから再編が実施されるのか。受験を控える者にとって、学校がなくなっていくのではないかと不安を抱える。

(その他)

何校減らしたいと考えているのか。

再編に伴い、中高一貫教育校がなくなるおそれがあるのか。

同趣旨のご意見については集約して取りまとめました。説明資料に対する質問等については、省略しています。